

2 補助金応募申請への準備

応募申請のためには、公募中の補助金の申請書作成にすぐに取り掛かるのではなく、事業計画内容の整理や事業計画に合った申請補助金の選択、県や支援機関【(公財) 栃木県産業振興センターなど】への相談などの事前準備が重要になります。

- ① 応募する事業計画の内容の整理、必要なバックデータの収集等
- ② 補助金ごとに目的、補助対象経費、補助率、補助上限額などが異なるため、事業目的や事業規模（予算額）に合わせた補助金を選択
- ③ 事業内容や補助金選択について、県や支援機関の窓口相談【推奨】



補助金応募申請書作成へ

図4 補助金応募申請書作成までの流れ

2.1 事業計画立案の事前準備

補助金の応募申請書は、企業における企画書と同様です。事業計画（企画書）作成の事前準備として、以下のような「基本チェック項目」について簡条書きで整理し、事業計画の強みや不足部分を明らかにすることで、事業計画の内容をより良くできます。

◇基本チェック項目

- ① “世の中にない新しいもの”を生み出す事業計画となっていますか。
 - 基礎技術の開発ではなく、具体的な製品を生み出すための開発内容となっていますか。
 - その技術・製品の開発は、魅力を感じる内容（優位性、新規性、独創性等）が含まれていますか。
 - 「このようなことをやりたい」ではなく、「このようなものを実現します」という現実的で具体的な内容になっていますか。
- ② それは、“社会やユーザー（川下企業）からの強いニーズ”がありますか。
 - 社会や取引先などの外部からのニーズに基づく開発となっていますか。
 - それを裏付ける資料やデータが示されていますか。
 - ニーズに対応した明確なビジネスモデル（事業化）を持っていますか。
- ③ “現状の技術レベル”は把握できていますか。
 - これまでの研究開発や製品等に関して、具体的な研究成果（数値等）や製品仕様、性

能が把握できていますか。

- 現状の技術レベルを裏付ける研究開発等の資料が整理されていますか。
(論文化・特許化されていることや、他社の技術状況等が調査されていると良い。)

④ 新しいものを生み出す上で、“克服すべき技術的課題”が明確化できていますか。

- 「新しいもの」を開発する上で課題となる「既存（現状）の技術」における「技術的課題」が整理されていますか。※「技術的課題」が、審査において重視されます。
- 目標が可能な限り定量的に（数字で）示されていますか。
- 「・・・高度化する」、「・・・検討する」など抽象的表現でなく、具体的に技術内容が記載されていますか。

⑤ “課題解決に向けた技術的アイデア”を持っていますか。

- 課題解決のためのアプローチが具体的かつ明確で、研究開発要素が含まれていますか。
- 現状の技術や協力機関の専門性等から判断してアイデアは実現可能な内容になっていますか。

⑥ アイデアは自社のみならず、“外部の組織や人の協力”が得られますか。

- 自社及び外部の組織や人は、課題解決のアプローチや事業化におけるそれぞれの役割に対して的確な能力を有し、相互の協力関係が構築できていますか。
(実績、知名度、信頼性などがある研究・教育機関の協力を得ることが望ましい。)

⑦ アイデアを実行し新しいものを生み出すために、“必要な資源（資金・時間等）”は確保できていますか。

- 経費を精査し、必要な額が計上されていますか。
- 必要経費の根拠・証拠が明確になっていますか。
- 購入品等の必要性が明確になっていますか。
- 所定の期間内で課題が解決できる技術開発内容となっており、必要な人員が確保されていますか。

⑧ 事業の実施による、“事業効果”が明確化されていますか。

- 事業による直接的な効果（売上・利益・雇用等）が示されていますか。
※国や地方公共団体の助成に対して、どれだけ効果が見込まれるかがポイントです。
- 自社が享受する事業効果だけでなく、地域経済等への波及効果が示されていますか。
※補助金の財源は“税金”です。国や地方公共団体の産業振興施策に基づき、地域経済・地域社会に寄与する内容が優先されます。

2.2 補助金情報の入手先

補助金の情報は様々なホームページに掲載されています。公募開始から提出期限まで期間が短い補助金もあるため、日々の情報収集が重要になります。

<p>①ミラサポ plus (https://mirasapo-plus.go.jp/)</p>	
<p>②中小企業庁 補助金等公募案内 (https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/koubo/index.html)</p>	
<p>③ (公財) 栃木県産業振興センター (http://www.tochigi-iin.or.jp/)</p>	
<p>④栃木県 県の技術・製品開発に関する補助金等の 公募案内 (https://www.pref.tochigi.lg.jp/sangyou/shoukougyou/seihinkaihatsu/index.html)</p>	

2.3 補助金相談窓口

栃木県では、以下の3つの相談窓口を設けています。補助金について御不明な点がございましたら、お気軽に相談ください。

相談窓口	TEL	e-mail
栃木県庁 工業振興課 (本館6階)	028-623-3192	kougyou@pref.tochigi.lg.jp
栃木県産業技術センター 技術交流部	028-670-3391	sangise-sougou@pref.tochigi.lg.jp
(公財)栃木県産業振興センター 経営支援部 総合相談グループ よろず支援拠点	028-670-2607 028-670-2618	shien@tochigi-iin.or.jp yorozu@tochigi-iin.or.jp

また、相談は申請補助金選択段階や応募申請書作成段階などの様々なタイミングでお受けしています。

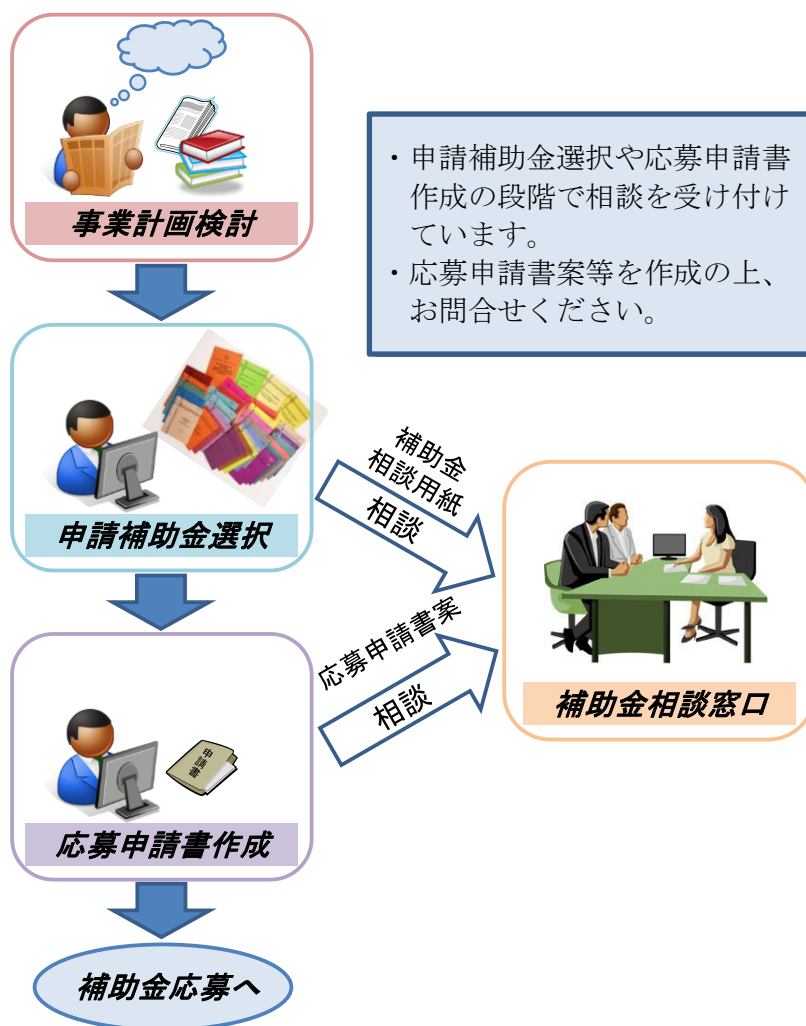


図5 相談タイミング

技術開発支援補助金活用の手引き

「補助金の概要」

「補助金申請書作成マニュアル」

令和4(2022)年1月

栃木県産業労働観光部工業振興課

ものづくり企業支援室

本マニュアルは、申請書の作成が難しい国の補助金等について、次回申請の参考となるよう、前回公募の内容・実績と、申請書を書く際の注意点とポイントをまとめたものです。

目次

ページ

第1部「補助金の概要」

1 補助金とは	1
2 補助金応募申請への準備	4
3 応募申請書作成のポイント	8
4 補助金採択後の留意点	12

第2部「補助金申請書作成マニュアル」

1 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	15
2 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）	29
3 事業再構築補助金.....	46
4 県・産業振興センター補助金.....	58
4.1 ものづくり技術強化補助金.....	58
4.2 戦略食品競争力強化支援補助金	60
4.3 スマートファクトリー実証モデル事業補助金	61
4.4 とちぎ未来チャレンジファンド【技術高度化助成事業】	62
4.5 サポートユアビジネス.....	63
4.6 世界一を目指す研究開発助成事業.....	64
4.7 脱炭素化技術育成支援事業.....	65